



国産木材を活用した革新的な商品で、 世界へチャレンジ

MEC Industry株式会社
代表取締役社長 小野 英雄

当社は、国産木材の活用を目的として2020年1月に設立し、2022年6月には湧水町の自社拠点「鹿児島湧水工場(栗野工業高校跡地)」並びに「鹿児島湧水素材センター」が本格稼働を開始しました。当社の特徴は丸太の仕入から製材・加工、商品の製造・販売・施工までを一気通貫で行うビジネスモデルで、鹿児島を中心とした南九州産材を活用した革新的で高品質な商品を、中間コストをカットしながら安定的に供給できる点にあります。

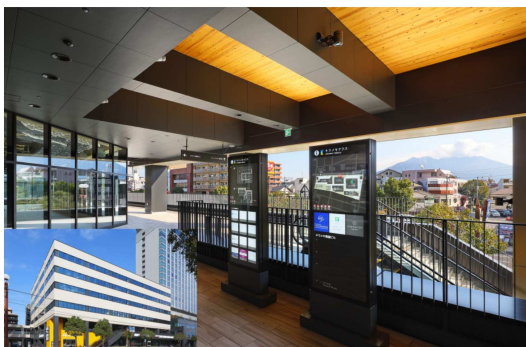
現在の主力商品は中高層建築の木質化を容易かつ安価に実現する「MIデッキ」と、日本初のCLT(直交集成板)を使用した純木造プレファブリック住宅「MOKUWELL HOUSE」です。

「MIデッキ」の開発には、工業技術センターの協力のもと「万能実大試験機」を活用させていただきながら試作を繰り返し、商品化を実現させました。鋼製デッキと木を一体化した型枠材兼仕上げ材で、施工負担を軽減し、建設現場の職人不足にも貢献します。MIデッキは鹿児島市の「キラメキ南国ビル(キラメキテラス内)」の他にも、東京・大阪・札幌・名古屋・福岡など都市圏の中高層建築物を中心に採用が進み、木質建築化に貢献しています。また、今夏からはMIデッキにも使用する三角断面鉄筋付きデッキ「スーパーフェローデッキ」の製造・販売も開始し、既に九州エリアでの採用が決定しています。

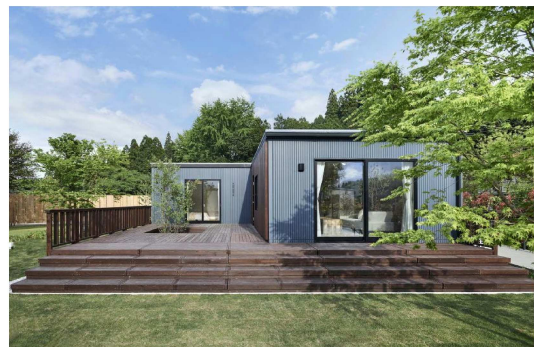
「MOKUWELL HOUSE」は工場内で住宅の大部分を製造するプレファブリケーション工法を採用した戸建住宅です。床と天井にCLT、壁に2×4パネルを使用して耐震等級3相当、高気密・高断熱ながら、自社一貫生産により中間コストを削減することで高品質・低価格を実現し、「ウッドデザイン賞2022」では最優秀賞となる農林水産大臣賞をいただきました。

当社商品に使用するCLT材、2×4材、幅はぎ材等の建材は販売も行っており、家具や外装・内装への利用もなされるなど、様々なシーンで木材活用が進み、県産材が活躍しています。各方面から建材利用のお問合せもいただき、さらに国産木材利用が進んでいくものと思います。

設立からまだ間もない会社ですが、従業員数も130名まで増え、地域雇用の創出や地元住民・学校との交流等で地域貢献も行いながら、事業も徐々に軌道に乗ってきました。私たちは南九州産材を使用した商品を供給することで都市での木材利用を推進し、炭素固定を促すことで、森林には「伐って・使って・植える」適正な循環を促し「まちともりの架け橋」となることを目指しています。明治維新の立役者となった薩摩の地から、日本全国、そして世界へのチャレンジを続けていきます。



MIデッキ採用事例(キラメキ南国ビル)



MOKUWELL HOUSE